

浜岡原子力発電所 3号機 原子炉格納容器内塩分除去装置の点検の結果と今後の対応について

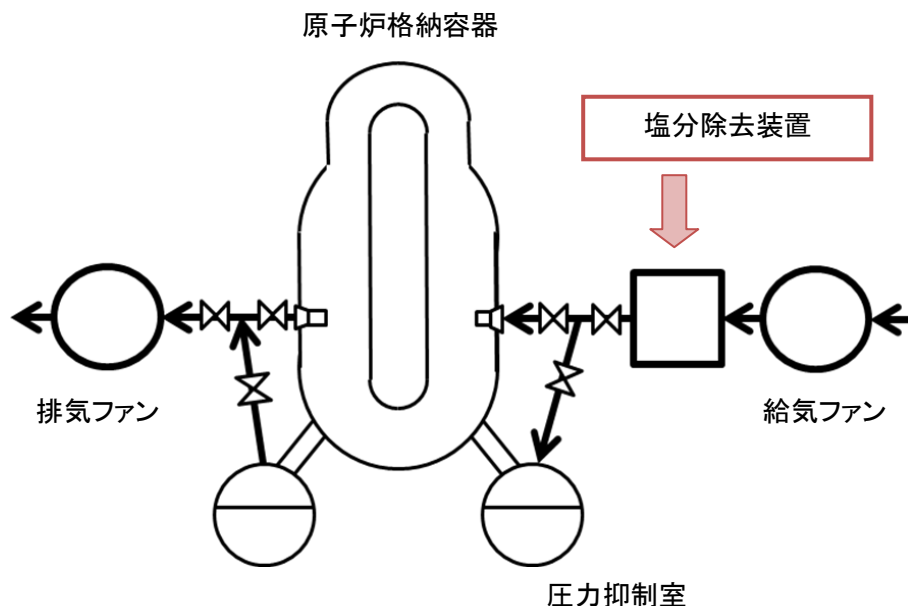
2016年4月8日

施設定期検査中の浜岡原子力発電所3号機において、原子炉格納容器内でアルミの薄板等が散乱していることを確認しました。このため、付近につながる系統を確認した結果、原子炉停止中に原子炉格納容器内の換気をおこなう空調に設置している塩分除去装置のフィルタの一部が破損していることが分かりました。

当該空調については圧力抑制室※にも接続しているため、圧力抑制室内に異物の混入がないかの点検および圧力抑制室に接続する系統への影響調査をおこなっていきます。

点検および調査の結果については、今後お知らせします。

なお、放射性物質の漏えいに係る事象ではありません。また、3号機の燃料は全て使用済燃料プールに保管しており、当該燃料の冷却に必要な水源は確保されているため、安全上の影響はありません。



※ 圧力抑制室は原子炉格納容器下部に位置し、水を貯蔵している設備です。原子炉圧力容器につながる配管の破断事故などで、原子炉格納容器内に放出された蒸気を圧力抑制室ベント管を經由して水中に導いて冷却し、原子炉格納容器圧力の上昇を抑制するとともに、非常用炉心冷却系ポンプの水源としての機能を有するものです。

以上